

川口けいすけ市議会傍聴記・9月議会

☆ 新清掃センター建設問題について

今回の傍聴記では、5人の議員が9月議会の一般質問していた「新清掃センター問題」を取り上げます。

新清掃センターの建設は、西清掃センターの老朽化により必要となりましたが、建設予定時期を大きく過ぎた現在も未だ着工に至っていません。この問題は、十数年も前から議論されてきた問題で、着工の遅れの大きな原因の一つは、市が初め、特定の企業しか満せない基準を設けたことにあります。後にそのことを指摘され、選定が白紙に戻ってしまったのです。(他にも原因は多くあるのですがここでは触れません。)

さらに、先ごろの大手建設業者の談合による指名停止措置により、競争入札予定業者が2社になってしまったことで、市の対応が注目され、この9月議会での一般質問となりました。

多くの議員は、「早く建設しなければいけないのだから、2社のまま入札を進めたほうが良い」という意見で、『指名停止を受けている企業の停止明けを待ってやり直そう』という競争性の弱さを心配した考え方を否定するものでした。もう一つの意見は、「早く建設しなければならないが、2社のガス化溶融方式でない炉の方が安定性が高く、コストも安いので、2社では進めず他の方式をとる業者を入れるべきだ」という意見です。私はこの意見に賛成します。その理由は、以下に述べる通りです。

ガス化溶融方式は次世代方式ともいわれ、ダイオキシン対策と最終処分場の延命という歌い文句で登場した方式です。しかし、この方式を採用した多くの炉で事故が起っています。安全性に疑問がある上、高温で燃やすために多くの化石燃料を使わなくてはならないなど、環境配慮性にも欠けるともいわれています。なんでも燃やせる焼却炉は、ごみの分別を後退させ、人々のごみ問題に対する意識も後退させてしまいます。今や、環境団体の多くはこのガス化溶融炉を使うごみ処理方法に反対の声を上げています。さらに、高額な建設費や維持管理費もデメリットの1つです。

川越市がもしダイオキシン対策や環境の保全をを真剣に考えるなら、不安定な最新型ではなく、安定している従来型を導入し、ダイオキシン対策には、「ごみの分別の徹底」をもってあたるという方法をとるべきだと私は思います。万一ガス化溶融炉で事故が起これば、それこそ施設周辺にダイオキシンが漏れるなど、有害物質を撒き散らすことになってしまうのです。皆さんはどのようにお考えでしょうか。

♡♡♡♡♡ 掲示板 ♡♡♡♡♡

小江戸川越防犯まちづくり情報メール配信サービス

川越市防犯のまちづくり基本方針(平成16年3月策定)に基づく「地域安全安心情報ネットワーク」構築事業の一環として、川越警察署との緊密な連携のもと、防犯対策、犯罪発生および不審者出没等の情報を、あらかじめ登録していただいた市民、事業者及び関係団体の方々の携帯電話やパソコンへ、随時、Eメールで提供するサービスです。

* 登録・お問い合わせ：市民部 市民活動支援課 防犯推進担当 Tel 049-224-8811(内線2421) または、川越市のホームページをご覧ください。

川口けいすけおすすめの二冊

「世界がもし100人の村だったら 3 たべもの編」・・・池田香代子(マガジンハウス) ¥1000
☆ 毎日の食生活を見直すきっかけになり、お店で食べ物を選ぶときに役に立ちます!

「地球では1秒間にサッカー場1面分の緑が消えている」・・・田中章義(マガジンハウス)
☆ 理科でも社会でもないみんなの地球教科書 ¥1000

* 読書の秋に親子で読める二冊です。大変読みやすく、いわゆる『環境問題』という、一つの分野の問題ではないことがよくわかります。おすすめです!



- ★ グリーنز川越は、100%再生紙・100%手作りで作成しています。
- ★ ご意見・ご感想など、みなさんの声をお聞かせ下さい。お待ちしております。
- ★ 駅前での配布や少人数でのポスティングでお届けしています。みなさんのお手元にタイムリーにお届けできない場合がありますが、ご了承下さい。